

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	利用者が望む具体的な目的の設定を行う事によって、客観的に評価可能で、利用者自身も達成感を得られる計画の策定展開が行われると、さらなる支援の質の向上に繋がるかと思われる。	・毎月行っているモニタリングを簡易的なものに変更し、モニタリング期間を短縮して行い利用者の支援を評価する。	・新規入所時の情報収集を保証人だけに留めず、利用者を含めた広いものにする。 ・現在入所中の利用者から出来る限り聞き取りを行い支援の幅を広げる。	12ヶ月
2	10	コロナ禍の制限下において、家族との交流や意見聴取の機会が減少していますコロナ禍でもできる方策や手法の検討を行う事によって従前の取り組みに近づけていく事が望まれる。	・グループホームでの日々の活動や利用者の状況が分かりにくくなっている為、現在毎月配布を行っている、お便りのほかに運営状況やアンケートを作成し情報を収集する。	・現在行っている運営推進会議の議事録の配布。 ・来年度末に向けたアンケートを作成。 ・グループホーム内の年間行事計画を配布し、参加可能な内容があれば参加を促していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。